TOWN TOPICS

まちの話題

①大会2連覇達成！

第32回玉名駅伝大会

1月13日（日）、和水町体育館駐車場をスタート・ゴールに全10区間約44kmのコースで『第32回玉名駅伝大会』が開催され、和水町チームは見事大会2連覇を達成しました。

▲優勝した和水町選手のみなさん

今大会には、玉名市からの5チームと玉名郡内4町の合計9チームが参加。和水町は、1区から最終区までトップを一度も譲らない終始安定した走りをみせ、2位に5分以上の大差をつけて堂々の優勝を飾りました。

沿道からは、多くの町民の声援で、選手たちは日頃の練習の成果を十二分に発揮できたようです。

※主な成績は次のとおりです。

【成　績】
優勝　和水町（2時間26分18秒）
2位　玉名市玉陵
3位　玉東町
【和水町出場選手】（敬称略）
1区　藤原　章裕（区間賞）
2区　田中絵美里（区間賞）
3区　東　瑞樹
4区　彰吾（区間賞）
5区　豊後　拓也
6区　邦広（区間賞）
7区　高木　将希
8区　高木　彩加
9区　江藤　滉祐（区間賞）
10区　吉開　信昌
【最優秀選手賞】
高木　将希（和水町）

②春富チーム大会5連覇達成！

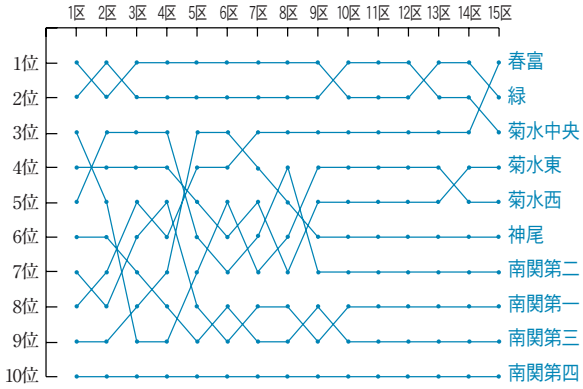
第29回南関・和水親善熊日駅伝大会

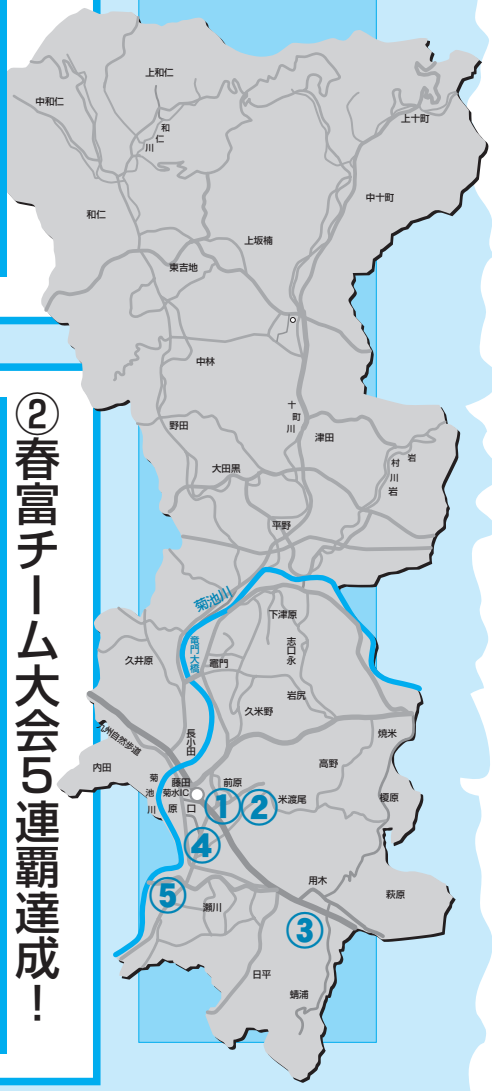
2月17日（日）、第29回南関・和水親善熊日駅伝大会が和水町体育館駐車場をスタート・ゴールとして、全15区間約37・6kmのコースで開催されました。

大会は、序盤で遅れた春富チームが徐々に順位を上げ、最終区で菊水中央チーム、緑チームを追い抜き、大会初5連覇を達成しました。

今回は、箱根駅伝大会で活躍した豊後友章選手（菊水東）が最終区で出場。沿道からひときわ大きな歓声が沸いていました。

【最優秀選手】（敬称略）
霧島　有毅（春富）
【躍進賞】
南関第三





③伝統文化を体験

菊水東小『本物の舞台芸術体験事業』

2月4日（月）、和水町立菊水東小学校で、大阪市の『大槻能楽堂』による能「土蜘蛛」の上演がありました。

「土蜘蛛」の上演

これは、文化庁の「本物の舞台芸術体験事業」として、児童・生徒達に舞台芸術に身近に触れる機会を提供することで、芸術を愛する心・豊かな情操を養うことを目的に実施されているものです。

当日、児童たちは、菊水東小学校体育館に設置された能舞台で「土蜘蛛」を鑑賞。菊水南小・西小の6年生や地域住民の方々と一緒に、厳粛な雰囲気で演じられる日本の伝統文化『能』を身近に鑑賞することができました。

また、昨年、謡の指導を受けていた児童達は、「高砂」を謡い、能楽師の舞や囃子との共演や実際にお面を付けたりと普段体験することができない貴重な体験をすることができました。

④命の重みを感じて

赤ちゃんふれあい体験

2月19日（火）、菊水中学校で赤ちゃんふれあい体験がありました。

これは、思春期の子ども達に、妊婦や赤ちゃんに実際に触れることで、生命の尊さ・性の尊重を学び、子どもの成長を見守る親の喜び・責任、男女が協力して家庭を築いていくことを学ぶ目的で開催されました。

よちよち、よいこでちゅね♪

まず妊婦体験では、妊婦さんのお腹に触れて、命の鼓動を感じました。次に生徒は重りをつけたジャケットを装着して、実際に妊婦になったときの生活の大変さなどを体験しました。

その後、赤ちゃんとのふれあい体験では、生徒からは「かわいい」という声援がいたるところであがっていました。また、赤ちゃんは普段と違う環境から大泣きする子もいて、生徒は、最初は戸惑いながらも、父親・母親になったみたいに愛情をもって一生懸命あやしていました。

⑤火の用心！

肥後民家村防火訓練

文化財保護デーの一環として、2月1日（金）、肥後民家村で防火訓練が行われました。

当日は、玉名消防署和水菊水分署の隊員や和水町消防団員、肥後民家村管理人や工房の森職員など約50人が参加しました。

この日、布施家で火災が発生し、消火活動を行うという想定で訓練が行われ、本番さながらの緊張感の中、参加者たちはきびきびと行動し、訓練に励みました。

消火訓練終了後は、玉名消防署和水菊水分署員の指導のもと、実際に消火器を使っての消火訓練が行われ、火災における初期消火などの対応方法について、参加者たちは真剣に聞いていました。

消火器を使っての消火訓練

※文化財防火デー

昭和24年1月26日に法隆寺金堂の壁画が火災により消失したことをきっかけに、文化財保護委員会（現文化庁）と国家消防本部（現消防庁）が昭和30年定めたもので、貴重な文化財を火災等から守るために、全国的に消防訓練が実施されています。